

授業科目名・形態	社会福祉概論Ⅱ 講義	必修・選択の別	選択	単位数	2
科目担当者氏名	中里 操 ・ 高橋 俊文	実務経験の有無	有	開講期	1年後期

【授業の主題】

社会福祉概論Ⅰで学修・習得した内容を基礎にして、実際に社会福祉制度・行政として施行・運用されるとき設計図ともいえる「社会福祉政策」について理解する。現在の「福祉制度・政策」は、社会福祉の学問的な理論体系や資本主義社会経済の歴史の中で生まれてきた理念や価値観とは別に、「福祉政策」の枠組みの中でシステムとして存在している。本科目では福祉政策の構成要素について学び、併せて関連領域である生活の豊かさに関連する隣接の教育・住宅・労働政策等との関係について理解する。これらを踏まえて相談援助活動のあり方と福祉政策の関係について理解する。

【到達目標】

- 1 政策概念（政策主体、政策対象、政策目的、政策実施方法など）を理解する。
- 2 福祉改革を始めとする政府主導の福祉政策とその課題を理解する。
- 3 福祉政策の構成要素である政府、市場、家族、個人の役割を理解する。
- 4 福祉政策と関連政策である教育政策、住宅政策、労働政策などとの関係について理解する。
- 5 相談援助関係と福祉政策との関係について理解する。

【授業計画・内容】

- 第1回 第4章：③福祉政策の理論を振り返る。福祉政策の論点と政策の特徴（中里）
 第2回 第5章：①福祉政策の機能と実施過程（福祉政策の目的、機能、実施方法）（中里）
 第3回 ②政策決定過程（政策はどのようにして生まれるのか、決定のプロセス）（中里）
 第4回 ③福祉政策の実施方法（中里）
 第5回 ④政策評価（誰が何をどのように評価するのか）（中里）
 第6回 第6章：「福祉国家と財政」①財政学を学び、②福祉政策を財政から考える。（中里）
 第7回 ③日本の福祉財政の課題（中里）
 第8回 第7章：①公共部門のサービス供給システムと利用（中里）
 第9回 ②民間部門のサービス供給と、③部門間の連携・共同（高橋）
 第10回 ④福祉人材の養成・確保と、④利用者支援（高橋）
 第11回 第8章：①保健医療政策とソーシャルワーク（MSWの目的・機能を中心に）（高橋）
 第12回 ②教育政策とソーシャルワーク（いじめ、不登校、学習障害等とSSW）（高橋）
 第13回 ③住環境とソーシャルワーク、④労働・賃金政策とソーシャルワーク（高橋）
 第14回 第9章：①比較福祉国家研究、福祉レジームと、④日本モデル・日本型福祉社会（家族主義の視点）（高橋）
 第15回 ③新しい日本モデルの模索と「最後の一人」を支える生存権（高橋）

【授業実施方法】

講義形式で行う

【授業準備】

前回講義の内容を復習する。講義予定内容を読み専門用語及び概念などについて調べ、疑問点を整理しておく。講義中に取り上げたテーマなどを自ら文献に当たるなどして確認する。社会福祉関連のニュースに関心を寄せ、目を通し自分なりの理解と説明ができるように、積極的に主体的な準備に務める。

【主な関連する科目】

社会福祉概論Ⅰ、社会保障論、貧困に対する支援

【教科書等】

新・MINERVA 社会福祉士養成テキストブック『社会福祉の原理と政策』 ミネルヴァ書房

【参考文献】

適宜紹介する

【成績評価方法】

授業への取り組み姿勢 10%、提出レポート 20%、期末試験の成績 70%の総合評価とする。

【実務経験及び実務を活かした授業内容】

福祉施設での就業経験で培った社会保障・社会福祉制度の活用の仕方、社会ニーズの把握の方法等を伝えたい。

【学生へのメッセージ】

社会福祉概論Ⅰの学びを基礎に、制度・政策の実際を福祉システムとして具体的に理解することが必要です。社会福祉概論Ⅱはより具体的・積極的に福祉問題に関心を寄せ、地域包括支援システムを理解するために医療、介護、教育などの関連領域と児童、高齢者、障害者などの分野横断的な総合福祉システムとして理解することが求められています。しっかりと予習・復習をして下さい。